



京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センターE.FORUM

「『生きる』教育」プロジェクト

単元「たいせつな こころと体」の概要

教材・教具 準備の手引き

はじめに

単元「たいせつな こころと体」には、「安心・安全」についての理解や友だちとの話し合いを促進する仕掛けをふんだんに盛り込んでいます。この仕掛けの要になっているのが、視覚的に理解を助ける教材・教具の数々です。ここでは、本単元に使用する教材・教具をどう準備すればよいのかご説明します。

※教材データのダウンロードは、下記 URL・右記 QR コードのサイトをご利用ください。

<https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/ikiru/>



各教材・教具の準備

○授業全体で使う教具

ファイル名	準備方法
0-1. A4 印刷物 0-2. B4 印刷物 0-3. A3 印刷物	本単元で使用する教具をまとめたファイルです。ページ指定で印刷するなどしてご利用ください。

○第1時で使用する教具

ファイル名	準備方法
1-1. 授業用プリント	男女のイラストから「安全ではない部分」「清潔ではない部分」を探すワークに使用します。必要部数、A4 に印刷してください。 【必要部数】各児童に1枚
1-2. 男女のイラスト(制服) 	男女のイラストは授業プリント(解答例)と照らしつつ、付属パーツも含めて用意してください。男女のイラストは、番号が同じ顔パーツと体パーツをそれぞれ A3 に印刷し、ラミネートして切ってから組み合わせてください。 体操服、水着、付属のパーツも、A3 に印刷し、ラミネートしてから切ってください。黒板掲示のため、裏面に磁石を貼ります。

(つづく)

<p>男女のイラスト(体操服)</p>  <p>ワーク前 ワーク例</p> <p>付属パーツ</p>	<p>男女のイラスト (制服)</p> <p>付属パーツ:傘、木の棒、帽子、肩紐、靴、名札、ズボン</p> <p>男女のイラスト (体操服)</p> <p>*顔と体(下着)を貼り付け、上から体操服パーツを重ねておく。</p> <p>付属パーツ:水滴、ハンカチ、絆創膏、ティッシュ、 綺麗な体操服、水着</p> <p>【必要部数】黒板掲示用に1セット</p>
<p>1-3. 吹き出し</p> 	<p>想像した気持ちを書き込むための吹き出しです。A4 に印刷して、ラミネートしてから切って下さい。黒板掲示のため、裏面に磁石を貼ります。</p> <p>【必要部数】各5～10枚程度</p>
<p>1-4. プライベートゾーンの約束</p>	<p>プライベートゾーンの約束を確認するためのシートです。空欄になっている部分を見童と確認しながら、提示します。(黒板の大きさに合わせて作成したい場合は模造紙での作成がおススメです。)</p> <p>【必要部数】黒板掲示用に1セット</p>

○第2時で使用する教具

ファイル名	準備方法
<p>2-1. 授業用プリント</p> 	<p>イラストに出てくる動物の距離感の良し悪しを判断するワークに使います。必要部数、A4 に印刷してください。解答例も添付しておりますが、「いいタッチ」か「わるいタッチ」かは、個人差によるゆれがあるものもあります。唯一絶対の正しいものとして伝えるものではなく、子どもたちの実態や感覚を可視化するワークの一環としてお使いください。</p> <p>【必要部数】各児童に1枚</p>
<p>2-2. いい/わるいタッチカード (全11種)</p>	<p>A4 に印刷し、ラミネートし、黒板掲示用に裏面に磁石を貼って下さい。</p> <p>【必要部数】黒板掲示用に1セット</p>
<p>2-3. ペーパーサート (全6種)</p> 	<p>親しい大人との距離感を考えるワークに使います。それぞれのイラストをB4に印刷し、ラミネートしてから切って下さい。黒板掲示のため、裏面に磁石を貼って下さい。</p> <p>【必要部数】黒板掲示用に1セット</p>

2-4. 助けてもらえる人カード	<p>学校の先生など、その学校や地域で困ったときに助けてくれる人を提示するのに使います。学年団の先生方や学校内外で子どもたちを支えてくださっている方々を中心に写真を準備し、カードに貼り付けてください。A4 に印刷し、ラミネートしてから切って下さい。黒板掲示用に、裏面に磁石を貼って下さい。</p> <p>【必要部数】黒板掲示用に 3,4 種類</p>
2-5. 助けてもらえる場所カード	<p>助けてもらえる場所を知るために、助けてもらえる場所カードを A4 に印刷し、ラミネートしてから切って下さい。黒板掲示用に、裏面に磁石を貼って下さい。学校や交番、こども 100 番の家等、その学校や地域で困ったときに助けてくれる場所の写真を貼って下さい。</p> <p>【必要部数】黒板掲示用に 3,4 種類</p>

※本教材・教具は、田中梓先生はじめとする大阪市立生野南小学校（現・田島南小学校）の先生方によって開発された単元「たいせつなところと体」の実践を踏まえつつ、普及版として作成いたしました。作成にあたって、様々なご支援をくださった皆様に、感謝申し上げます。

※本教材・教具は、SMBC 京大スタジオにおける共同事業「貧困・格差・虐待の連鎖を乗り越える教育アプローチの研究開発と普及」（通称：「『生きる』教育」プロジェクト）の一環として作成いたしました。作成は、下記の者が担当いたしました。

田野茜、飯塚喜久乃、多田理紗子、田原聡美、西岡加名恵

※この教具セットに関するお問い合わせは下記までお願いします。

京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター E.FORUM

「『生きる』教育」プロジェクト事務局

〒606-8501

京都市左京区吉田本町京都大学大学院教育学研究科

E-mail e-forum.ikiru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp